

25 企業会計原則における発生主義の原則に基づく仕入原価の計上の要件の組み合わせとして最も適切なものはどれか。

- a) 「商品または製品の受入」及び「支払対価の確定」
- b) 「財貨または用役の受入」及び「支払対価の確定」
- c) 「財貨または用役の受入」及び「対価の支払」
- d) 「商品または製品の受入」及び「対価の支払」